

強化ポイント 1 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実

方向性①:多様なニーズを捉えた取組の拡充

○地域スポーツハブの取組の充実

- ・地域スポーツコーディネーターの情報交換会等を通して情報提供や広域の関係者のマッチングの支援を行い、広域のニーズ等に応じた効果的な取組を促進

方向性②:継続した活動につなげる体制づくり

○市町村行政との連携による取組の推進

- ・市町村ごとのスポーツに関する課題を各市町村と共有し、地域の実情に応じた対策を検討・実施

方向性③:民間団体や企業等が核となる新たなスポーツ推進体制との連携

○高知県スポーツコミッションとの連携

- ・高知県スポーツコミッションが実施する公益的な活動を支援
※スポーツ指導者の派遣、地域におけるスポーツイベントの企画・運営、スポーツ大会等の誘致 等

○総合型クラブの自主的な運営の促進に向けた支援を行う中間支援組織（高知県スポーツ協会）との連携

- ・高知県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の取組を支援

強化ポイント 2 スポーツにおけるデジタル技術の活用の充実

方向性①:「みる」「する」「ささえる」多様なスポーツ場面におけるデジタル技術の効果的な活用

○スポーツ活動におけるリモート活用の拡充

- ・リモート機器を配置している団体・施設が広域で連携してスポーツ教室や研修等を行う取組を推進

○県内競技大会の動画配信

- ・県スポーツ協会が取りまとめて、国民体育大会四国ブロック大会における試合動画を配信（15競技）

○高知県スポーツ科学センター(SSC)におけるデジタル機器の活用

- ・短距離走のタイムをワイヤレスで測定する機器や心肺機能等を評価する機器の活用

○新たなサイトによる「自然環境を生かしたスポーツの情報発信」

- ・県内の地域ごと、種目ごとの自然環境を生かしたスポーツ情報を一元化し、周辺の情報も含めて発信

○高知龍馬マラソンにおけるデジタル技術の活用

- ・企業と連携したランニングセミナーにおけるウェアラブル機器の活用

強化ポイント 3 スポーツ医科学のさらなる活用

方向性①:SSCの体制強化

○サポート体制の充実

- ・県内外の外部スタッフの協力によるスポーツ医科学サポートの強化

○人材の育成（SSCスタッフの資質向上）

- ・SSCスタッフの資格取得促進やスタッフの育成プログラムの作成・実施

○日本スポーツ振興センターとの連携強化

- ・日本スポーツ振興センターと連携・協働し、スポーツ医科学サポートの具体的方法やサポートを実践する人材育成等に関する活動を実施

方向性②:スポーツ医科学の効果的な活用の促進

○スポーツ医科学の計画的な活用の促進

- ・SSCが競技団体のスポーツ医科学の計画的な活用を支援

○デジタル機器の活用

- ・短距離走のタイムをワイヤレスで測定する機器や心肺機能等を評価する機器の活用

方向性③:SSCによる研修内容の充実

○研修会の充実

- ・SSCが競技団体、学校部活動、スポーツ団体等と連携しニーズに応じた研修会を実施

強化ポイント 4 スポーツ合宿等のさらなる誘致強化

方向性①:ターゲットを絞った誘致のさらなる強化

○ターゲットを絞った誘致活動

- ・日本代表チームやトップチームの誘致 ・県内キーパーソンのネットワークによるターゲット競技の誘致
- ・自然環境を生かしたスポーツや若者に注目されている競技の誘致 ・関西圏のチームや学校の誘致 等

方向性②:地域の特徴ある自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進

○受入可能施設の掘り起こし及び合宿受入種目の拡大

- ・市町村が管理する施設の空き状況や市町村が受入れを希望する種目を取りまとめ、市町村と連携し誘致

○県内スポーツ施設の有効活用

- ・民間企業の施設や廃校の施設の活用

○地域スポーツハブや高知県スポーツコミッションなどの民間団体が行うスポーツツーリズムの取組への支援

方向性③:大会の誘致

- 中四国大会や全国大会等の県内開催支援
- 障害者スポーツ大会の誘致

強化ポイント 5 本県の特徴ある自然環境を生かしたスポーツツーリズムの活性化

方向性①:ぐるっと高知サイクリングロードの活用の充実

○ぐるっと高知サイクリングロードの充実による受入れ拡大

- ・ナショナルサイクルートの認定に向けた取組 ・安全にサイクリングが楽しめる環境整備
- ・四国4県が連携した四国一周サイクリングロードのPR強化

方向性②:地域の特徴ある自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進

○新たな情報発信サイトの構築及びプロモーションの展開

- ・県内各地域のスポーツツーリズムに関する情報を集約し、周辺の情報も含めて発信

○新たな情報発信サイトの拡充に向けた地域の資源の掘り起こし・磨き上げ、PR強化

- ・地域の関係者や有識者等と連携し継続的に資源の掘り起こしや磨き上げを実施
- ・関西圏で実施される「スポーツ博覧会in関西」への出展 ・補助制度の見直し等による新たな大会開催の促進

方向性③:自然環境を生かしたスポーツ大会への効果的な支援の実施

- 補助制度の見直し等による新たな大会開催の促進

強化ポイント 6 オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用したスポーツの振興

方向性①:国際的なスポーツ交流の推進

○各種交流や連携の実施

- ・スポーツ合宿の受け入れや相互交流（チェコ・シンガポール） ・海外コーチによる指導者講習会（オランダ）
- ・スポーツ医科学面の連携・協力（シンガポール） ・地域スポーツクラブとの交流（シンガポール）
- ・スポーツ大会・イベント等の連携（シンガポール） ・スポーツ以外の分野における交流（関係各国）

方向性②:オリンピック・パラリンピアンによる体験や学びの機会の提供

○スポーツの魅力や価値を伝える機会の拡充

- ・オリンピックやパラリンピアンによるスポーツ教室や体験会、パラスポーツに関する学びの機会の提供

方向性③:障害者スポーツ（パラスポーツ）の推進

○障害者スポーツの大会・合宿の誘致

○スポーツに出会う機会の提供

- ・マッチングプログラムにおける障害児の参加機会の提供

○競技スポーツ選手の育成・支援の強化

- ・パラアスリートの発掘を見据えた体験会の開催 ・指導者の育成やスポーツ医科学面の支援

○障害者スポーツの理解啓発の充実

方向性④:新たなスポーツへの対応

○新たなスポーツの活動の充実

- ・東京オリンピックから加わった新競技やパラリンピック競技について、県内の競技人口等を把握したうえで対応